

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
整形外科学

【研究課題名】 炎症性腸疾患に伴う脊椎関節炎の発症および重症化リスク要因の調査

【研究期間】 倫理委員会承認後（2016年頃）～2025年12月31日

【研究の意義・目的】

炎症性腸疾患（IBD）に脊椎関節炎（SpA）が合併することが知られています。脊椎関節炎が合併すると、四肢の関節や脊椎・仙腸関節に炎症が生じ、その部位の構造が破壊された結果、日常生活動作に支障が出てまいります。しかしながら、その詳細は不明な点が多く、IBDに合併するSpAの割合や、SpAを合併しやすいIBDの患者さんの特徴、SpAが重症になりやすいIBD患者さんの特徴などは不明のままです。このような点が明らかになれば、IBD患者さんの病状をより良い方向に導けます。

【研究の方法】

（1）御協力いただく事：

あなたの診療情報（カルテなどにある検査結果など）を研究のために使わせて頂きます。

（2）実施方法：

当施設の倫理委員会で承認された後（2016年頃）から2025年までの間に炎症性腸疾患で大阪市立大学附属病院通院された患者さんにつき、炎症性腸疾患と運動器の疼痛にかかわる情報を診療録から抽出し、研究に利用させていただきます。身長、体重、既往歴、併存症、合併症などの背景因子や血液検査、X線検査や超音波検査などの画像情報がそれに含まれます。得られた成果は病気の予防や診断・治療の向上に役立てたいと考えております。もし、研究に使用されることを希望されない場合やご質問など御座いましたら、下記までお問い合わせください。

（3）あなたの個人情報は厳重に管理します：

得られた情報には、あなたの性別、生年月日も含まれますが、カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は含まれません。情報の集計に際してはプライバシー保護のため、個人が特定できない情報に置き換えて対応し、結果を公表する場合も個人名が出ることはありません。

【研究組織】

大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学

研究代表者： 乾健太郎

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：乾健太郎

住所：545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

電話：06-6645-3851

Fax：06-6646-6260

E-mail：seikei@med.osaka-cu.ac.jp